

パソコンのスペックと Windows11 への対応の確認方法

この資料では、Windows10 パソコンのスペック確認と Windows11 への対応を調べる方法の一例を紹介しています。記載している以外の方法でも調べられますので、検索サイトで「パソコンスペックの調べ方」などをキーワードに調べても構いません。

1 パソコンのスペックを調べる方法

(ア) 調べる前の準備

まず、パソコンの電源を入れ、スペックを表示する準備をします

- ①パソコンの電源を入れる(必要な場合はログインする)

(イ) システムの詳細情報画面を開く

- ①パソコンが立ち上がったら、キーボードの Windows キー(☐または[WIN])を押しながら「X」キーを押す(2つのキーを同時に押します)
- ②表示されたメニューの中から「システム(Y)」をクリックする
- ③詳細情報の画面(図1)が開きます。

(ウ) プロセッサ(CPU)を調べる

- ①「デバイスの仕様」という欄の「プロセッサ」項目(図1のB)にプロセッサ(CPU)の型番が記載されています。例えば

- 12th Gen Intel(R) Core(TM) i5-1235U 1.30 GHz
- Intel(R) Core(TM) i5-8500 3.00GHz
- AMD Ryzen 5 3800X 3.00GHz など

- ②大手前大学・短期大学の授業では、「Core(TM) i3」「同 i5」「同 i7」など(一般に、数字が大きいと高性能)が使用できます(AMD の場合は、これらと同等の性能であること)。



図 1

(エ) メモリを調べる

- ① プロセッサの次にある「実装 RAM」項目に書かれた数値がメモリの量です(図1の[C])。
- ② 大手前大学・短期大学の授業では、4.00GB 以上であれば使用ができます。ただし、卒業までの4年間で快適に使用するには8.00GB 以上、また学部や履修するメジャーによっては16.0GB 以上必要になる場合もあります。

(オ) 記憶装置(SSD、ハードディスク)を調べる

- ① 表示している画面の左側から、「記憶域」「ストレージ」と表示されている場合もありますをクリックします(図1の[D])。
- ② 標準的な設定の場合、「OS(C:)」や「LocalDisk(C:)」の横に書かれた数値が記憶装置の容量です(図2の[E])。ただし、空き容量が不足していると、ファイルの保存ができなくなります。不要なファイルを削除したり、外付けの記憶装置を準備するなどしてください。



図 2

2 自分のパソコンが Windows11 にアップデートできるか確認する方法

2021年10月に、Windows11 がリリースされました。いま Windows10 を使っている場合、まだしばらくは使い続けることができます。ただし、Windows10 のサポートは 2025 年 10 月までとされており、皆さんが卒業するまで Windows10 を使い続けることはできません。いま Windows10 を使っている場合、2025 年 10 月までに Windows11 にアップデートするか、Windows11 のパソコンに買い替える必要があります。

ただし、パソコンの仕様によっては、Windows11 にアップデートできない場合もあります。マイクロソフトから、あなたのパソコンが Windows11 に対応できるか確認するツールがダウンロードできますので、ご自分で確認してください。

パソコン操作に自信がない場合は、入学後に学内の IT サポートを受けながら確認したり、アップデートしても構いません。

(ア) マイクロソフトから「PC 正常性チェック」をダウンロードする

Windows11 にアップデートできるかチェックするツールを「PC 正常性チェック」ツールといい、マイクロソフトの web サイトからダウンロードできます。

- ① 検索サイト(google や Yahoo!)で「Windows11 のご紹介」を検索する
- ② 検索結果の上位にある「Windows 11 のご紹介 - Microsoft」をクリックする
- ③ 動画などのコンテンツが再生されますが、そのまま下にスクロールする
- ④ ページの終わり近くにある、「互換性の確認」にある「PC 正常性チェックアプリのダウンロード」をクリック(図3の[I])し、ツールをダウンロードする

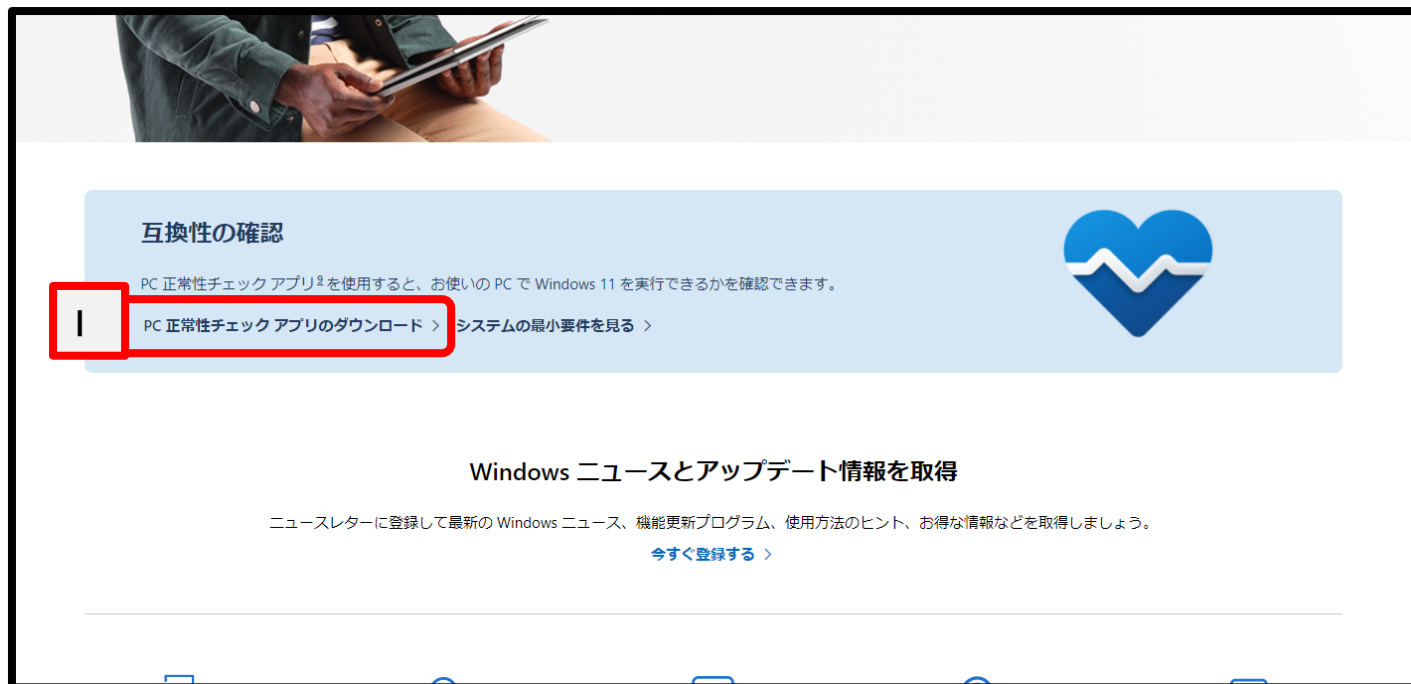


図 3

この先は、画面の指示に従ってインストール、ツールの実行をしてください。やり方がわからないときは「PC 正常性チェック」でインターネット検索して調べるか、入学後に学内の IT サポートを受けながら確認してください。